



令和4年11月11日
横浜市経済局産業連携推進課
公益財団法人横浜企業経営支援財団



EdgeTech+ 2022 において「I-TO P 横浜」の PR と「横浜パビリオン」の出展を行います

横浜市は「I-TO P 横浜」の取組を通じて、AI や IoT といった先端技術を用いた新規ビジネス創出に取り組んでいます。

この度、パシフィコ横浜で開催される「EdgeTech+ 2022」のテーマ別セミナーにおいて、「I-TO P 横浜」の取組を、「I-TO P 横浜ラボ（横浜ラポール）」参加企業 2 社にご協力いただき紹介します。

さらに公益財団法人横浜企業経営支援財団とともに、市内の組込みシステム/IoT 関連企業の販路拡大、ビジネスマッチング支援の取組の一環として、「横浜パビリオン」を出展します。

今回は「横浜パビリオン」初出展 6 社を含む 10 社の市内企業がブースを構え、製造現場などにおける AI/IoT 技術の活用や画像解析によるセキュリティ対策など、先端的かつオリジナリティあふれる製品や技術、サービスを幅広くアピールします。

1 EdgeTech+ 2022 の概要

名 称	EdgeTech+ 2022 ～事業変革を推進するための最新技術とつながる総合展～ ※令和3年度まで開催されていた「ET&IoT 展」は今年度から名称が変わりました。
会 場	パシフィコ横浜（神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1） 展示ホール/アネックスホール
会 期	令和4年11月16日（水）～18日（金）午前10時～17時 *11月17日（木）のみ18時まで
入 場 料 金	無料（入場にはオンラインでの事前登録が必要です。）
主 催	一般社団法人 組込みシステム技術協会
「横浜パビリオン」 出展位置 （小間番号）	展示ホール A-R10
公式ウェブサイト	https://www.jasa.or.jp/expo/

裏面あり

2 「I □ TOP 横浜ラボ（横浜ラポール）」の取組紹介について

EdgeTech+2022のテーマ別セミナーにおいて、障害者スポーツ文化センター「横浜ラポール」（港北区）で「障害者のスポーツや文化活動の充実、施設の利便性向上」をテーマに実施した「I □ T O P 横浜ラボ」に参加した企業2社が登場し、その取組事例を紹介します。

製品開発に向けた実証実験を検討されている企業・団体のご担当者様はこの機会に是非ご聴講いただき、横浜市をフィールドとした実証実験実施をご検討ください。（入場・聴講に当たっては事前登録が必要です。）

テーマ： I □ T O P 横浜 ～横浜市内で実証実験を行いませんか～

内容： 横浜市の実証実験支援の概要や「I □ T O P 横浜ラボ」の事例紹介について

日時： 11月16日（水） 10:30～11:15

場所： 展示会場内 セミナーRoom A

登壇者： 横浜市経済局産業連携推進課 担当課長 松本 圭市
Active Waltz プロデューサー 小番 芳範 氏
エヴィクサー株式会社 代表取締役社長 CEO 瀧川 淳 氏

【登壇者紹介】

Active Waltz 【ヘルスケア・アクティビティコンテンツ】

プロデューサー 小番 芳範 氏

【略歴】

ゲーム機及びゲーム開発会社にて約20年間プロデュース業務に従事。ゲーム専用機に限らず、様々な取り組みに対する参加障壁のハードルを下げることで、熱中度を高めることに対して、ゲームを含むエンタテインメント性の可能性をチャレンジするため、プロデューサーとしてActive Waltz及びコンテンツ「ブレイン・ワルツ」の開発に参画。



小番 芳範 氏

エヴィクサー株式会社 【音響装置を使ったUD防災】

代表取締役社長 CEO 瀧川 淳 氏

【略歴】

2004年にエヴィクサーを設立し現職。08年以降、デジタルコンテンツ流通の隆盛をにらみ、他社に先駆けて自動コンテンツ認識（ACR）技術、音響通信技術を開発。テレビ、映画、舞台、防災などの分野へ応用し、「スマホアプリを使ったバリアフリー上映」「字幕メガネ」を定着させる。



瀧川 淳 氏

3 支援企業による製品発表について

I □ T O P 横浜ラボ（横浜ラポール）に応募し、7～8月に同施設内で実証実験を行った三菱総研DCS株式会社（東京都品川区）は、10月26日（水）から、特別支援学校・学級向けコミュニケーションロボットサービス「Link&Robo for グローイング」を提供開始しました。

当該製品は、発売に先立って「横浜ラポール」で実証実験を行い、そこで得た検証結果を製品開発に還元し、この度のサービス提供開始に至りました。

※コミュニケーションロボットサービス「Link&Robo for グローイング」の詳細は以下URLからご参照ください。

https://www.dcs.co.jp/solution/lr_growing/index.html

Link & Robo for グローイング



製品イメージ

4 EdgeTech+2022「横浜パビリオン」出展企業一覧（50音順）

	企業名	展示内容
1	株式会社アイエンター	養殖業における水温、DO、塩分濃度など計測するIoT水質センサー、AIカメラで魚体サイズを測定するシステムをご紹介します。
2	Avinton ジャパン株式会社	機械学習モデルを搭載したエッジAIカメラを会場カメラの出力デモと遠隔モニタリングシステムを併せてご紹介しております。
3	株式会社エフィシエント	ITの基礎から最先端の技術を活用して様々な産業のシステム開発を得意とする会社です。
4	株式会社ジェイエスピー	AI/画像認識によるメーター自動読み取り対応 設備点検支援システム「moni-meter」
5	スパークスシステムズ ジャパン株式会社	UML や SysML などのモデリングツール EnterpriseArchitect などの設計開発の支援ツールを提供しています。
6	株式会社ドヴァ	そのパソコン業務、アシロボなら自動化できるかもしれません。働き方改革の救世主！月給5万円の純国産「RPA アシロボ」です！
7	ハル・エンジニアリング株式会社	展示品 PALDOG は一人暮らしの老人や徘徊癖の老人に使って頂くグッズです。“IoT 機器 + 犬のぬいぐるみ”をお届けします。
8	株式会社ベクトロジー	FPGA×クラウドの超低遅延で世界を一つに。超高速アクセラレーターシステムを出展します。
9	株式会社ワイ・シーソリューション	低照度・サーマルカメラを利用したAI画像解析による侵入者抑止、逆走検知システム。仮想シミュレータ上での自動機械学習。
10	和田工業株式会社	コネクタ用精密プレス金型の設計・金型部品・金型製作・精密プレス加工品 OEM コネクタ製作。

※ 網掛けは横浜パビリオン初出展企業

お問合せ先			
【I □ TOP 横浜、セミナーに関すること】			
経済局産業連携推進課	担当課長	松本 圭市	Tel 045-671-3591
【横浜パビリオンに関すること】			
公益財団法人横浜企業経営支援財団	経営支援部長	加藤 盛司	Tel 045-225-3733

※ 本件は、横浜経済記者クラブにも同時発表しています。

参考あり

【参考】

I・TOP横浜 (IoT オープンイノベーション・パートナーズ) について

【I・TOP横浜 (IoT オープンイノベーション・パートナーズ) とは】

横浜経済の強みである「ものづくり・IT 産業の集積」を活かし、IoT 等 (IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等) を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組から個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。



I・TOP横浜
IoT Open Innovation Partners YOKOHAMA

I・TOP横浜ウェブサイト
<https://itop.yokohama/>

I・TOP横浜ラボについて

「I・TOP横浜」の取組の一つで、実証実験の機会やフィールドの提供主体とともに、解決を目指す課題を設定し、I・TOP横浜参画企業から課題に沿った提案の募集等を行い、実証実験を通じて、社会課題の解決や製品化・サービス化を目指します。

I・TOP横浜ラボ

I・TOP横浜ラボでは、実証実験の機会・場の提供を行うフィールド提供主体とともに、解決を目指す課題を設定し、I・TOP横浜参画企業から課題に沿った提案を募集します。

提案については、横浜市、フィールド提供主体による審査・採択を行い、採択された提案は、実証実験を行うとともに、社会課題の解決、製品化・サービス化を目指します。

実証フィールドの提供
(例、横浜市の関連施設、市内事業所)

実証実験の提案募集

提案の採択

実証実験実施